



最先端情報技術を駆使したビジネスイノベーションを



**組込みシステム産業振興機構
理事長 西尾 章治郎**

近年、世界各国が積極的に IT 投資を行い、あらゆる分野で IT による真のイノベーションが起きています。

米国ではタクシーは Uber に取って代われ、ホテル業界は Airbnb に戦々恐々としています。また中国ではスマートフォン決済が浸透し、Alibaba や Baidu と呼ぶ巨大 IT 企業も出現しています。

自動車、工場などあらゆるものがインターネットにつながる IoT 社会になりました。コンピュータに目を移せば過去には考えられなかった高い認識能力を持つようになり、AI を駆使することで人間の不得手な部分を補い、IoT で収集されるビッグデータから新たな価値を生み出すことが可能となりました。

日本政府は、第 5 期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として Society 5.0（超スマート社会）を提唱しています。IoT で全ての人・モノがつながり、共有される知識や情報から新たな価値が生み出される Society 5.0 の一刻も早い実現に

向けて、産業界はより一層の変革と成長を求められています。

組込みシステム産業振興機構は、2007 年に産学官連携で組込みソフトを中核とした産業発展モデルを確立すべく発足された関西経済連合会内の組込みソフト産業推進会議を母体としています。それから 10 年以上が経過し、情報技術の未曾有の発達のなかで、情報技術の適用可能な事業分野が飛躍的に拡大しました。

これからも IoT、AI、ビッグデータ等の技術革新は続き、社会・経済システムの変革にまで及ぶイノベーション創出があらゆる分野で求められることは必至です。こうした時代の変化に対応し、組込みシステム産業振興機構としては、最先端情報技術を身につけた時代を牽引するリーダーの育成や、新たな発想による IT を利用した異分野のビジネスマッチングなどを通じ、関西を中核として、日本全体のビジネスの持続的成長、ひいては政府が主導する Society5.0 の将来に向けて力強く活動していきたいと考えています。